

半世紀前は、1人のお年寄りをたくさんの人で支える「**胴上げ型**」

今は、その支え手も減って、数人で支える「**騎馬戦型**」

そして、25年後には、支え手が1人という「**肩車型**」社会に！

他人ごとでも、絵空事でもありません

地区の皆さんをはじめ、行政や関係機関の皆さんで話し合い、

まちなかの“**ミライ**”に向けた**解決策**を提案しましょう。

暮らしデザイン 懇談会に参加しませんか？

日時

令和7年 **11月22日** **土** 午後6:00～午後8:30
(午後5:30～入場可)

場所

長浜まちづくりセンター（さざなみタウン）
多目的ホール（2F）

参加方法

長浜地区にお住まいの方やテーマに関心のある方はどなたでも。

※申し込みは不要、無料です。

当日、会場までお越しください。

【お問い合わせ先】長浜まちなか地域づくり連合会
TEL:64-2753 MAIL:ntd.rengoukai@gmail.com

どんなことを話し合うのですか？

- ① まちなかの**暮らしの幸福感**（ウェルビーイング）を充実するためには？
- ② 長浜市の核となる中心市街地。その**役割**を果たしていくためには？

誰もが、学べ、気軽に話しあえる懇談会です。



1

人口減少、少子・高齢化による問題が最大値となる2040年。さまざまな困難が予想されるこの時期から、現在を振り返り（バックカスティング）、私たちの暮らしやまちを見直す機会にしましょう。

2

みんなの“協働”で、困ったことを解決していけるよう、地域、行政、関係機関の皆さんで、今から準備できることを考える機会にしましょう。

3

長浜市では、令和9年度から5年間の新しい総合計画を策定中です。
この懇談会から、まちなかの役割を果たす施策を、どしどし提案しましょう。

まちなかの姿

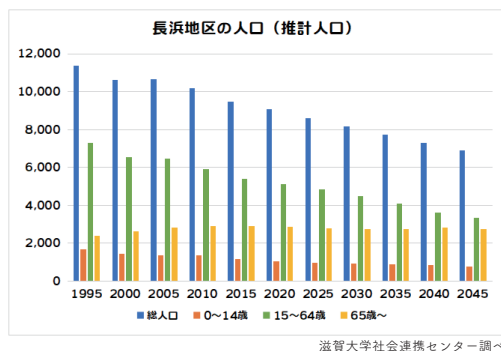
① 位置づけと特性

長浜まちなかは、古くから市街地を形成してきた長浜市の中心地域です。
JR北陸本線が縦断し、長浜駅を起点に、市内への路線バス網が整備されています。
黒壁スクエア、曳山祭などで多くの観光客が訪れています。



② これまでの人口推移の特徴

1995年には11,000人余りあった人口は、それ以降、減少を続け、現在は8,500人を割り込む状況です。それに伴い、空き家、空地が増加するなど、まちなかの空洞化が進んでいます。
今後も、人口減少は継続するものと思われます。



	空き家数	空き家率	空き家の状況				総家屋数
			A 現状で利用可能	B 小規模修繕で 利用可能	C 現状では、 利用は支障	D 倒壊の恐れ、 利用困難	
長浜市	2,445	5.1%	1,155	876	297	116	47,726
旧長浜市	844	3.1%	492	244	84	24	26,838
まちなか	217	5.3%	103	101	13	0	4,105

令和6年度空き家の実態（長浜市住宅課調べ）

皆さんの参加のカタチ

〔ファシリテーター〕 しがNPOセンター 理事・事務局長 西川 実佐子 さん

① 話題（困りごと）の提案

さざなみ酒店（長浜まちなか地域づくり連合会企画常任委員ほか）
連 泰寿 さん

② いろんな立場の方の懇談（Ⅰ）

※順不同

長浜市未来創造部 部長 和田本 啓 さん
鍋庄商店 山本 一貴 さん
長浜城下町まちづくり勉強会 代表 渡辺 浩之 さん
滋賀県立大学 特任講師 田中 惇敏 さん
中日新聞長浜通信局 通信局長 松本 芳孝 さん

会場の皆さんは、いろんな実態や問題点、取り組みを学びます。

③ 新しい取組事例の報告

近江八幡 まちや倶楽部 代表 宮村 利典 さん

④ 会場の皆さんで懇談（ペチャクチャタイム）

グループ（4～5人）で、自由に、話し合います。

⑤ いろんな立場の方の懇談（Ⅱ）

会場の皆さんは、地域課題の解決のヒントや協働での取り組みを学びます。

⑥ まとめ（振り返り）

会議全体を振り返ります。

